

# えびの 市議会だより



田植え後の水田を見守る田の神さあ（水流地区）

主な  
内容

## 平成29年度補正予算にて九州パーミス跡地

売却先が決定	..... P 3
常任委員会での審査内容	..... P 4
特別委員会での審査内容	..... P 5～6
各視察・研修等の報告	..... P 7
一般質問（登壇14名）	..... P 8～14
議会報告会のお知らせ	..... P 16

# 6月定例会における議案等の審議結果

## 1. 議案等

会期：平成29年6月1日～6月19日（19日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
報告第 2号	専決処分したえびの市税条例の一部を改正する条例の承認について	総務教育	原案承認
報告第 3号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	産業厚生	原案承認
報告第 4号	平成28年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	—
報告第 5号	専決処分した平成28年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)の承認について	平成28年度予算 審査特別委員会	原案承認
報告第 6号	専決処分した平成28年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第5号)の承認について	産業厚生	原案承認
議案第42号	固定資産評価員の選任について	—	同意
議案第43号	えびの市個人情報保護条例の一部改正について	総務教育	原案可決 賛成:12 反対:1 欠:1
議案第44号	えびの市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総務教育	原案可決 賛成:12 反対:1 欠:1
議案第45号	えびの市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	産業厚生	原案可決
議案第46号	えびの市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第47号	えびの市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	総務教育	原案可決
議案第48号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第2号)について	平成29年度予算 審査特別委員会	原案可決
議案第49号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について	産業厚生	原案可決
議案第50号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について	産業厚生	原案可決
議案第51号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について	—	原案可決
議案第52号	財産の取得について	—	原案可決
議案第53号	財産の処分について	—	原案可決
議案第54号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について	—	原案可決

## 2. 議員提出議案等

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
委員会提出 意見書案第1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書(案)	—	原案可決 賛成:12 棄権:1 欠:1

# 平成29年度 補正予算にて、九州パーミス跡地売却先が決定

平成29年6月定例会は、6月1日から19日までの19日間開催し、報告5件、議案13件（うち4件追加議案）の計18件を審議しました。結果は前項の審議結果のとおりです。

## 報告案件

**専決処分した平成28年度えびの市一般会計予算の補正（第12号）の承認について**

歳入歳出それぞれ1億7,277千円を追加し、補正後の予算総額は13億8,178万8千円となります。

（※詳しくは、P. 5 平成28年度予算審査特別委員会報告を参照下さい。）

## 報告第5号

## 条例等の議案

**えびの市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について**

農地利用最適化交付金事業実施要綱の一部が改正されたことによる条例改正です。（※詳しくは、P. 4 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。）

## 議案第45号

## 議案第47号

**えびの市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について**

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正です。（※詳しくは、P. 4 総務教育常任委員会報告を参照下さい。）

## 予算関係の議案

**平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）について**

歳入歳出それぞれ2億1,882万7千円を追加し、補正後の予算総額は13億8,357万1千円となります。

（※詳しくは、P. 5 平成29年度予算審査特別委員会報告を参照下さい。）

## 議案第48号

## 議案第51号

**平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第1号）について**

歳入歳出それぞれ1億1,474万4千円の増額となります。今回の補正は、企業立地対策事業に係る用地取得に伴うもので、九州パーミス（株）えびの工場跡地購入費です。所有者側でがれき等撤去し、更地としたものを市が購入します。（1億1,474万4千円のうち、土地購入費・7,500万円、撤去費用等・3,974万4千円）土地購入費については、鑑定価格（更地）と同額との説明でした。

## 議案第54号

**平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第3号）について**

歳入として、財産処分に伴う不動産売却収入の増額及び財政調整基金の一部繰戻しに伴う繰入金金の減額。歳出として、歳入の補正に伴い商工費の財源更正するものです。（増減額は7,500万円）売却先は（株）丸正フーズです。



売却先が決定した九州パーミス跡地。今後の活用策に期待が膨らむ。

## 人事案件

● 固定資産評価員

中満 敦雄さん（税務課長）

6月定例会において、当委員会に付託されました報告1件、議案4件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案・報告は原案のとおり承認及び可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

① 議案第43号 えびの市個人情報保護条例の一部改正について

番号法改正に伴い地方公共団体が条例により、独自にマイナンバーを利用する場合においても、情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携が可能となる改正が行われたことから、必要な事項の改正を行うものです。

Q… 今回の改正を受けて執行部としてはどのように受け止め、また今後の活用方法としてはどのように考えているのか。

A… 既に条例においてマイナンバーを利用できるというのは定めているため、今回の改正では情報連携の仕方、今まではシステムを使って利用できるという規定がなかったことで、その部分の改正がされたことにより、市町村の事務において例えばえびの市と他市で情報をやり取りする場合に、ネットワークシステムが使用可能になったという法令改正である。

② 議案第47号 えびの市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

平成28年10月に国勢調査の結果が公表されたことを受け、過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が、平成29年4月1日に施行され、その概要として固定資産税の課税免除の適用を受ける対象業種が製造業、旅館業、情報通信技術利用事業となっていたものから情報通信技術利用事業を除外して、新たに農林水産物等販売業と置き換える改正となっており、この課税免除の期間は3年間であるがこれに伴う減収分は地方交付税により3年間補填されるものである。

Q… 今回改正された農林水産物等販売業とは、小規模なものや大規模なものもあると思うが、市内で該当する業者はどれくらいあるのか。またその定義はどういったものか。

A… えびの市内では「道の駅えびの」のような大規模な施設が該当するのではと考えているが、現時点で具体的な該当業者については把握していないところである。また農林水産物等販売業の定義についても、今のところ具体的な内容は示されておらず、詳しい取り扱いの内容等は、今後国から示されると思われるので、その時点で市民の方にも周知を図っていききたい。

総務教育常任委員会  
委員長 小東 和文

6月定例会において、当委員会に付託されました議案3件、報告2件について審査を行いました。審査の結果、すべての議案、報告は原案のとおり承認及び可決すべきものと決しました。以下、主な議案、報告の審査内容を抜粋して報告します。

① 報告第3号 専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について

Q… 条例の主な改正理由は、

A… えびの市国民健康保険税条例の一部改正について、改正法律などが平成29年3月31日に公布された。原則として、同年4月1日から施行されることにより改正するものである。また、低所得者の国民健康保険税の軽減措置を拡大するため、5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げを行った。条例の改正の影響により、5割軽減の8世帯、2割軽減の10世帯が新たに対象となる。また、軽減される世帯の軽減総額は、64万6千円の見込みである。

② 議案第45号 えびの市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

Q… 本条例の改正の趣旨は何か。  
A… 農地利用最適化交付金事業実施要綱が一部改正され、成果実績に応じて、交付金が交付される事になり、農業委員や農地利用最適化推進委員の積極的な活動を推進するための改正である。今回の交付要件は、活動実績に基づいて交付されるもので、その活動実績の精査については、細かな内容の活動日誌を作成し集約していくが、同じ案件で複数回活動されたときには、その回数分が委員の活動となり、交付すべきものと判断している。今回初めての事業で関係機関等の指導、助言をいただきながら活動日誌等を基に新しい活動の展開となる。

産業厚生常任委員会  
委員長 井上 義人

# 議案等の 審査の

## 予算審査特別委員会報告

### 平成28年度予算審査結果

6月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、報告第5号 専決処分した平成28年度及びの市一般会計予算の補正（第12号）1件であり、一日間の日程で審査を行いました。審査の結果につきましては討論はなく、全会一致で承認すべきものと決しました。報告第5号については、介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）の介護予防サービス計画費収入を年間3,360件、新規加算分を120件予定していたところ、介護予防事業の効果により収入が減少し、歳入歳出差引額に不足が見込まれたことから、介護サービス事業勘定繰出金を172万7千円増額するものです。

### 平成29年度予算審査結果

当特別委員会に付託された議案第48号 平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）について審査を行いました。審査の結果につきましては、討論はなく全会一致で可決すべきものと決しました。

議案48号につきまして、主な審査内容を報告します。

#### ①道の駅運営事業費について

Q…道の駅の南側の469㎡の土地購入費342万6千円の経緯は。

A…市道拡幅当時の残地が今回の農地であり、今回の土地取得の目的は、現在の道の駅の奥の砂利敷駐車場の出入りに大変不便をきたしており、今回取得する農地を駐車場の入口として利用することにより、砂利敷駐車場の利便性が高まると考えている。

Q…土地の購入価格は土地鑑定をした価格なのか。

A…鑑定は行っておらず、価格の設定については、当初予算での道の駅の東側に隣接する土地購入費を計上する際の価格設定に基づくもので、これは道の駅の土地購入時の相場よりかなり安く価格設定ができたため、これと同等の価格で相談したところ、地権者の方に了承いただいた。

Q…10アル当たりの価格は730万円となるが間違いはないか。

A…道の駅東側の取得時の10アル当たりの価格に合わせる形で、10アル当たり730万円となる。

#### ②誘客事業費について

Q…今回の補正の目的は。

A…観光客誘致を実施する会議への負担金や、アウトドア情報の案内受付・アウトドアグッズのレンタル・販売・カフェの運営等を行いながら、道の駅との相乗効果による交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的とした事業を実施するために増額されたもの。

Q…誘客を受け入れるには、白鳥地区を経由する道路の拡幅が重要であるが、今後の計画は。

A…えびの高原小田線については継続して県知事要望を行っている。また国立公園満喫プロジェクトの中でも道路拡幅の要望等も行っている。えびの高原小田線は、平成28年度中に測量が全て終わっているようであり、少しずつでも拡幅等の工事が始まるのではないかと。

予算審査特別委員会

委員長 上原 康雄



訪日外国人を惹きつける取組として、環境省が計画した国立公園プロジェクトに選定されているえびの高原

# 議会改革等調査特別委員会報告

平成28年12月定例会において、市の長期的、継続的な発展を支え、市民の幸せのため、また自らを立ち返り、議会の資質向上を目指し議会改革に取り組む必要があるため、議会改革等調査特別委員会が設置されました。特別委員会は、議員報酬、議員定数、政務活動費、議会報告会について4項目の調査をするため、設置されました。

調査項目を2分科会に分け、第1分科会が議員報酬、議員定数について、第2分科会が政務活動費、議会報告会について、調査、協議をいたしました。

特別委員会では各分科会の協議内容を報告して8回にわたり協議を行いました。

また、第1分科会については、市民団体との意見交換も実施いたしました。

結論は、議員報酬、議員定数及び政務活動費の月額については現状維持に至りました。

先ず第1分科会の会長報告の協議内容、意見等を報告いたします。

議員定数についてはありますが、第1分科会では削減か現状維持かどうか1つの方向性には至りま

せんでした。

## 削減の意見として

1. 人口の減少、厳しい財政状況

## 現状維持の意見として

1. 委員会機能の強化

2. 若年世代の政治参加

3. 市政課題の多様化に対応するため議員の確保

これらの意見を加味して特別委員会としては、全議員の意思統一のもと、現状維持に決定しました。

次に議員報酬であります。こちらも第1分科会では増額か現状維持かどちらか1つの方向性は得られませんでしたが、協議内容は、

## 増額の意見として

1. 平成15年4月に報酬3%カットされたまま

2. 議員年金制度の廃止

3. 若年世代の政治への参加

4. 社会情勢の変化などが上げられました。

## 現状維持の意見として

1. 定数の結論を考慮して、議員定数削減なしでの報酬増額は市民の理解は得られないとの意見があり、特別委員会の結論としては、この点を考慮し現状維持に決定しました。

続きまして政務活動費について

## 具体的改善点は

1. 飲食費の支出はしない

2. 備品購入の取り扱い

3. 収支の公開方法の周知

4. 調査研究で研修に係る実績報告書の様式の改善

以上の点は、中間報告の時に報告した内容であります。政務活動費月額は、報酬との関連があるため保留としていましたが、第1分科会の報酬現状維持を加味した結果特別委員会としては現状維持にいたしました。

なお、改善事項4点については平成29年度の政務活動費から適用することとしました。

次に議会報告会であります。

議会基本条例の基本に帰り、以前の報告重視から広聴機能を高め

た意見交換の場とすることとしました。

## 前述の理由から、具体的な改善策として

① 中学校区ごとに4か所で実施

② 市政課題に対する共通テーマを設定、また地域に沿った地域別テーマを設定

③ 報告会実施のための実行委員会の設置

④ 報告会の内容開催周知の広報の発行

以上が報告されました。

第2分科会の報告を受けて特別委員会での内容の通り結果を得ました。なお、今回報告された改善事項については、平成29年度の議会報告会より実施することとしております。

総論、今回の特別委員会を通じて、これからも議員として今以上に研鑽に努め、またえびの市議会として出来る限り改革できるものは改革し、市民に開かれた議会運営を目指してまいります。以上で議会改革等調査特別委員会の最終報告といたします。

委員長 蔵園 晴美

# 各常任委員会視察・研修会等の報告

## 産業厚生常任委員会 調査報告

平成29年5月30日に小林・えびの間道路改良促進期成同盟会の総会が、えびの市役所大会議室にて開催されました。道路改良促進期成同盟会の要請を受け、小林市の議員と共に現地調査を行いました。小林市とえびの市を結ぶ主要道路をはじめ、県道等の主要な幹線道路は、両市の行政・経済・産業・文化などの多面的な位置付け、

また、通勤通学とともに日常生活に欠かせない生活道路であります。今回は未改良区間など5箇所を調査しました。

今後、未整備区間の早期改良に向けて、宮崎県に対して要望活動及び未改良区間を中心に現地調査研究などの事業展開を実施していくことが総会で決定されました。

産業厚生常任委員会

副委員長 山元 豪



県道京町小林線

## 認知症サポーター養成講座受講報告

今回、議員発案で実施された研修会です。現在、えびの市でも推進が図られている認知症サポーター養成講座を全議員で受講しました。えびの市の現状は平成29年3月31日現在、介護保険課で認知症と把握しているのは、要介護等認定者数1,684名のうち、65歳



以上で認知症と思われる方が1,268名、65歳以下では若年性認知症の方が1名いらっしゃるそうです。改めて、高齢化が進む現状を感じました。養成講座では、地域包括支援センター職員から映像を交えた実技指導等を受けました。この認知症とは、脳の働きに不都合が生じることで様々な障がいが起こり、日常生活に支障をきたす

期間が6ヶ月以上継続している状態をさし、脳の病気の一つであるとのことでした。それを踏まえたうえで、認知症の方への接し方や心構え等を理解することが大切であり、認知症の方へ接する際には【驚かせない・急がせない・自尊心を傷付けない】など、認知症への正しい理解に基づく対応が必要との説明でした。研修後には、認知症サポーター養成講座受講修了証としてオレンジリングが配付されました。今回の研修を機に、議員一人ひとりが認知症サポーターとしての自覚を持ち、地域貢献等に努めてまいります。また、より多くの市民の皆さんにも関心を持っていただき、是非一度認知症サポーター養成講座を受講していただきたいと思えます。



西原 義文

# 一般質問

## 工業団地について



本石 長永  
議員

6月定例会では、14人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

**質問** 5月15日、16日に新政会の7名で、県内・県外の工業団地の先進地研修を行った。県内の延岡市の工業団地は、1工区・2工区とあるが、1工区は既に全区画に企業が入っている。2工区も造成が終わる所であり、現時点で2社入ることが決まっているとの事であった。県外の研修では、佐賀県多久市の工業団地の視察では、

1工区2工区の中で、1工区は既に全区画に企業が入っていて、2工区は現在造成中だが、数社の見学要請が入っている状況との事であった。このような状況を鑑み、えびの市においても1日も早い工

業団地の造成が望まれる。ここで市長に提言をしたい。えびの市が計画している工業団地について、様々な問題点を解決し、一刻も早い工業団地造成を推進して頂きたい。企業誘致については、時期が遅れるほどに誘致が厳しくなると考える。是非関係課の担当者を先進地へ研修に行かせ、様々な問題点を解決し、1日も早く造成を完了し、企業誘致を行えるようにして頂きたい。

**市長** さらに担当職員を研修に行かせ勉強させる。



山地を切り開き工業団地整備されている（佐賀県多久市）

## 市道改良について



西原 義文  
議員

**質問** 市道後川内苧畑線が現在改良中だが、北部農免に接合する部分は急勾配で、後川内方面から停止して出る場合、急勾配のため接触事故が数回発生している。

**建設課長** この急勾配部分は担当課も承知している。今後、現地測量等を実施して急勾配の解消に取り組んで行く。

**質問** 当地区より路線変更の要望があれば路線変更が出来るか。

**建設課長** 具体的な路線変更要望が地元からあれば現地調査を行い、路線変更について検討する。

**質問** 後川内地区にえびの市上水道第2水源基地が完成した。近くに防災食育センターの建設も決定しているが、市道拡幅の計画は、**建設課長** 市道後川内二十里線は現在計画していない。



市道後川内線から急勾配付近

**質問** 二十里橋西詰手前より左の市道改良、側溝フタ設置の要望が以前あったと思うが進捗状況は、**建設課長** 平成26年に要望があり、現地調査をした。本年度維持工事を行う予定であるが、延長距離が長いので数年かかると思う。終点部より計画的に維持工事を実施し完了させたいと考えている。



# 持続可能なえびの市であるための、迅速な対応を！



遠目塚 文美  
議員

**質問** 西諸圏内で唯一、分娩可能な病院が今年7月末で分娩受け入れ中止となる。この影響はとて

も大きく、妊娠を躊躇されたり、里帰り出産を懸念されたりと不安な声が多く寄せられている。地域医療の確保・継続・充実の厳しい現状を痛感しているが、医師確保等はこれまで以上に要望すべき課題である。市として今後、どのような対応をとるのか。

**市長** これまでも協議等を行ってきた。早速、西諸2市1町の首長で宮崎県知事等へ陳情を行う。

**質問** 今後、人吉市や都城市など遠方の病院での分娩となる。妊婦さん達からは、移動手段を心配する声もある。タクシー助成など負担軽減策の検討は出来ないか。

**市長** 妊婦さんの不安等を少し

でも解消するため早急に検討する。

**質問** 他県で妊婦専用の救急車

※①「産急車」を導入している自治体がある。市としても調査・検討していただけないか。

**市長** 先進地等の調査を行う。

**質問** いきいき百歳体操のさら

なる充実のため補助は出せないか。  
**市長** サポーターさん達の意見等を伺ってみる。

※①産急車とは...  
↓赤色灯とサイレンを付けた妊婦専用の救急車以外の緊急車両。突然の破水や陣痛など緊急時に対応する



分娩可能な産科病院がなく、妊婦が安心して出産出来るよう全国で初めて導入された産急車



# 認知症の予防対策は充分なのか



井上 義人  
議員

**質問** 2025年には、高齢者の5人に1人が認知症を発症する

時代を迎えるといわれている。認知症になっても安心して暮らせるえびの市を作るため、高齢者が気兼ねなく触れ合うカフェは、知恵がよみがえるといわれているが、地区ごとに取り組む考えはないか。

**介護保険課長** ボランティア活

動に参加する高齢者等に研修を実施し、認知症の人に対して適切な支援を行うとともに、認知症サポーターの養成等により積極的に認知症に優しい街づくりに取り組み、カフェについても検討する。

**質問** 今年4月に介護保険法が

改正されたが、改正の主な内容は、**介護保険課長** 介護予防サービスとして、提供されていた「介護

予防訪問介護」(ヘルパー)と「介

護予防通所介護」(デイサービス)はそれぞれ、「訪問型サービス」と「通所型サービス」として提供される。

**質問** 工業団地調査による砂礫

層が3mあり、更にシラス層が重なり、大地震で液状化の可能性があると報告。現在の調査だけでは工業地としては不適地ではないか。昭和43年のえびの地震では市内に液状化があったのか。

**市長** えびの地震では液状化の記録は残っていない。



認知症の方などとの交流の場となる認知症カフェ

## 工業団地と歩道設置



北園 一正  
議員

**質問** 工業団地造成基本計画では、1工区・2工区の工区分けが示されている。「農村地域工業団地計画」と「農業振興地域指定解除」の手続きはどのように進めるのか。

**企業誘致対策監** 農工団地地域指定及び農振地域解除の申請は、1工区だけの申請となる。

**質問** 1工区（16・3ha）の申請になるとの答弁であるが、工業団地は1工区を先行して造成するのか。

**市長** 基本計画は1工区、2工区の全体計画となっているが、財政負担等を考慮して、まず1工区を造成して事業を進める。

**質問** 上江小中学校の通学路である市道栗下上江線の歩道設置計画については。

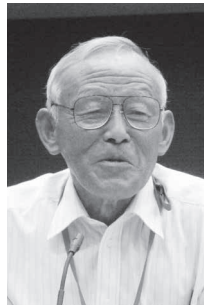
**建設課長** 西上江自治公民館か



児童生徒の安全対策が図られている

ら西方に、児童生徒の通学と地域の交通安全を図るため、延長530mの歩道を設置する計画である。平成31年度完成の予定で実施する。

## 財政改革を急げ



宮崎 和宏  
議員

**質問** 人口減少する中、財政運営はますます厳しくなってくる。

改革の一番は人件費の削減と言われている。つまり職員を人口に見合った人数に削減すべきと思うが。

**市長** 人口は減っても市民に対するニーズは増えている中で、これ以上の職員の削減は考えていない。

**質問** 工業団地計画でいろんな問題が指摘されている中で、今度はまず1工区を開発すると言われるが、それでも排水対策や液状化など様々な問題がある。それよりも、前から提言している九州パーミス跡地を早急に取得しておくべきと思うが。

**市長** 企業誘致するためには良い場所であり、現在ある企業との話を進めている。近いうちに用地

取得の予算を提案したいと思っている。

**質問** これまで農業に対する補助事業を進めてきたが、所得向上・特産品確立産地化につながっていないと思う。現在、特産品産地化になっているホウレン草などの加工野菜に対して種子代ぐらいの補助はできないものか。

**畜産農政課長** 現在のところしていないが、今後検討する。



企業立地の決まった九州パーミス跡地

## ヒノヒカリ特Aを目指して



蔵園 晴美  
議員

**質問** 平成28年度えびの産米ヒノヒカリは特A獲得ができず残念な思いである。JAえびの市・県・及び稲作振興会との協議がなされているのか？支援策は？と市民の声がある。

**市長** これまでのような支援はしていく。

**畜産農政課長** 稲作振興会とは協議はしていない。JA・県とは協議している。ほ場選定などは稲作振興会プロジェクトの中で取り組む。新たな取り組みとしてはICT(情報通信)を活用して6か所に水管理システムを設置し、JA職員のタブレット(情報受信装置)で気温・水温・水深・湿度などを感知して刈り取り時期、中干時期を判断すると聞いている。技術指導はJA。食味試験手数料の負担



再度特Aに向けて取り込みが始まっている市内田園

は市とJAとでしている。

**質問** 高校生の市内就職を推進するため会社訪問説明会は保護者同伴で行くようにしてはどうか。

**市長** 重要である。子供たちに市内企業ガイドブックを配布している。親にも理解いただきたい。

**教育長** 企業ガイドブック配布により企業体験も多様化した。

## 国の悪政を正せ



西原 政文  
議員

**質問** 戦争法を強行、戦争状態の南スーダンに派兵した。その上共謀罪を強行し国民の自由と権利を奪い戦争に参加できるようにした。森友学園、加計学園問題は、総理や夫人の意向で国政をゆがめ税金の私物化だと思う。見解を求め。

**市長** 国の事は見解を控える。税金は、公平公正に使うべきだ。

**質問** 入札価格の事前公開をしている自治体がある。不落時の再入札もあり市内業者の経営と技術の伝承の為の検討が必要だ。

**市長** 不落の時は、業者を変え再度入札をしている。入札価格の事前公表は考えていない。

**質問** 本人の同意なしにマイナンバーが使われている。今後、情報流出が心配だ。対策を示せ。

**企画課長** マイナンバーは、全ての住民に割り当てられ国から指示もあり税務課も活用している。誤送付もあったが利便性がありセキュリティを上げて使用する。

**質問** 年間50万円、100万円に満たない少ない額の年金受給者が居られる。支援対策が必要だ。

**市長** 住み続けたい街を目指し、きめ細かい行政を進める。



## 危機管理について



上原 康雄  
議員

**質問** 3月定例会で通学路の安全対策の重要性について質問を行った。その後の通学路の安全点検の実施状況は。

**学校教育課長** 3月定例会後、すぐに現場の安全点検を実施した。通学路沿いの樹木が安全確保に問題となる場所があった。担当課と協議を行い、樹木の枝打ち等の安全対策を行い安全確保に取り組む。

**質問** 市内の国道沿いの、急傾斜地の山林の伐採が行われ、土砂流出の危険がある。現場の確認を行っているか。

**農林整備課長** 現場の確認は実施している。山林所有者・地域住民との協議を行い安全確保に努めている。今後、地域の協力、関係団体と合同で現場確認を行い、災害防止に取り組む。



国道沿いの伐採現場

**質問** 災害時に燃料の確保に対応できる発電機を備えたガソリンスタンドが市内に2カ所しかなかったが、その後の状況は。

**基地・防災対策課長** 国の事業で、災害対応の石油性の貯蔵タンクや発電機等を設置する場合の補助事業があり、市内のほとんどのガソリンスタンドが補助申請されたのを確認している。

## 5000人クラスの京町温泉マラソン大会を!!



山元 豪  
議員

**質問** 第30回の記念大会である京町温泉マラソン大会の参加者が過去最高の2900名を超える数であった。ボランティアの数は足りていたのか。将来的に大規模な大会にする構想はあるか。

**観光商工課長** 今回の大会は、議員をはじめ飯野高校生や地元の方々を含め426名のボランティアに協力していただいた。人員的には少なくなっていたが、最大限のおもてなしをしていた。また、打ち合わせについては事務局との連絡ミス等があり迷惑をかけたところもあった。

**市長** 参加者の増については、最終的には実行委員会で決定するが参加者が増えるような環境を整えられるようにしたいと思う。

**質問** 今年、福岡のえびの応援

団に期待しているが目的は何か。  
**地方創生対策監** 福岡えびの応援団については九州の中心である福岡をターゲットに観光振興や交流人口の拡大、移住促進等の推進をはかる事を目的として、7月30日の正式結成に向けて準備をすすめているところです。



30回の節目を迎え、盛大に開催された京町温泉マラソン大会



## 「道の駅を拠点としたまちづくり」 構想について



小東 和文  
議員

**質問** 知的障害者のグループホームの設置に向け、行政としてサポートしていくとのことだったが、その後の進捗状況を伺う。

**市長** グループホーム設置に向けて意向調査を行い、公的な補助制度や今後の県の計画等について情報収集した。早期設置に向けた支援を行っているところである。

**質問** 生活困窮者を対象にした「子ども食堂」について、どのように考えるか。

**市長** アンケート調査の結果、将来的に必要と答えた人の割合が35%だった。今回設置予定の子ども貧困対策推進協議会の中で全国的な実施状況や必要性等を支援策のひとつとして調査研究していく。

**質問** 道の駅を拠点とする構想を提案しているが、そのためには

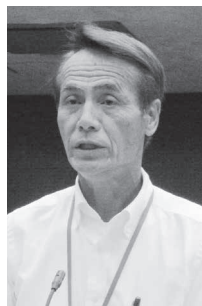


道の駅えびののの拡張を提案

都市計画道路の見直しも検討し高速道路側道を拡張して、道の駅に繋ぐ西側一帯を含めた全体構想が必要だ。トップリーダーとしてのビジョン・前向きな方向性を示せ。

**市長** 西側については、道の駅と連動することもあると思うが、もっと大きなまちづくりの考えの中で使用目的を明確に整理する。もう暫く検討の時間を賜りたい。

## 「市工業団地整備計画」策定で、位置・規模・財政・労働力を明確に盛り込め



池田 孝一  
議員

**質問** 3月の西郷工業団地整備基本計画に併せて示すと明言した位置や規模や財政担保の重要判断根拠は、今日示されていない。今期最後答弁の機会だ。答弁資料の要求も拒否された。もう譲れない。一つ一つ答弁を求めろ。

**市長** 大変申し訳ないと思う。しかし、基本計画時に位置などの根拠は示しているし、規模は今回1工区のみ整備する考えである。

**質問** 今、初めて団地の整備面積の規模をさらっと縮小すると答弁されたが、規模決定の判断根拠を示すよう指摘してきた。では今回の規模縮小見直しの理由は何か。

**市長** 後年度の市財政負担が大ききことである。したがって、1工区（16・3ha）で整備を実施したい。後年度財政リスクも考慮し

た。

**質問** 財政面での検討も当初から指摘し、規模の縮小・見直しを求めてきたもの。しかし、規模縮小するならば全てが解決するわけではない。規模も含め整備に関する市の重要な判断根拠を明確にし、これを盛り込んだ「市工業団地整備基本計画」を策定し、改めて議会、市民に判断を仰ぐ考えはないか。

**市長** 策定し、議会に示したい。



工業団地候補地となっている湯田西郷地区

## 市民に信頼される市立病院へ



田口 正英  
議員

**質問** 災害防災対策について、今後の訓練等に手話通訳者を含めた聴覚障害者の防災訓練をされる考えがあるか。

**基地・防災対策課長** 防災訓練に参加されることは重要である。今年度支部会員を中心に手話サークルの協力をいただき防災講座を開催する。また意見やニーズ等聞き、今後自治会等と日程調整を図り、早期に実施訓練ができるようにする。

**質問** 地域医療の基幹病院として、今後も市民の生命を守るため、安心安全な医療提供にどのように取り組んでいくつもりなのか。

**市長** 市民に信頼される病院経営をしていかなければいけない。

**病院事務長** 危機管理体制についてはより一層徹底する。接遇研

修については民間の講師を招いての計画を考えている。

**質問** 障害者基本法に教育関係があり、その中に地方公共団体は障害者である児童、そうでない児童生徒との共同学習また相互理解を促進しなければならない。本市の現状は。

**教育長** 市内の学校では特別支援学級に在籍する児童生徒が通常の学級で、学習を進めたり交流活動を行う等積極的に取組んでいる。



地域医療の基幹病院と位置づけられているえびの市立病院

## 地元の要望に市長の前向き意見を



栗下 政雄  
議員

**質問** えびの市立病院にMRI等の機械導入の考えはないのか。

**市長** 経営状況等を考えると現状では非常に厳しい。

**質問** 霧島地区の水道水確保について地元の要望があるが市長はどう考えるか。

**市長** 水道経営や国の補助等の

関係もあることから、地元とは意見交換していきたいと考える。

**質問** 上大河平土地改良区の宮内水路の進捗状況は。

**農林整備課長** 地元説明会を近く開催する予定である。平成30年度の事業採択申請に向けて、法手続き等を行っていく。

**質問** 西郷営農組合への機械導入に向けて、市長はどう考えるか。

**市長** 法人化して頂ければ地元をサポートしていく。



## 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成29年6月19日

宮崎県えびの市議会

### 議会日誌

11日	議会改革等調査特別委員会	29日	議会広報常任委員会
10日	市内小学校入学式	27日	議会改革等調査特別委員会
7日	市内中学校入学式	24日	議会広報常任委員会
5日	議会改革等調査特別委員会	23日	市内小学校卒業式
4日	議会改革等調査特別委員会	22日	飯野高校を守り育てる市民の会
2日	平成29年度消防団入退団式	21日	3月定例会閉会
〔平成29年4月〕		20日	議会改革等調査特別委員会
29日	議会広報常任委員会	19日	議会改革等調査特別委員会
27日	議会改革等調査特別委員会	18日	議会議長特別委員会
24日	議会広報常任委員会	16日	市内中学校卒業式
23日	市内小学校卒業式	15日	議会広報常任委員会
〔平成29年5月〕		14日	議会議長特別委員会
26日	議会改革等調査特別委員会	13日	議会議長特別委員会
25日	議会改革等調査特別委員会	12日	九州国際高等学校入学式・留学生入校式
9日	行政視察受入（鹿児島県西之表市）	11日	九州国際高等学校入学式・留学生入校式
11日	議会改革等調査特別委員会	10日	議会議長特別委員会
25日	議会改革等調査特別委員会	9日	議会議長特別委員会
29日	議会運営委員会	8日	議会議長特別委員会
30日	迎会	7日	議会議長特別委員会
31日	進期成会総会・現地調査	6日	議会議長特別委員会
臨時会		5日	議会議長特別委員会
〔平成29年6月〕		4日	議会議長特別委員会
1日	6月定例会開会	3日	議会議長特別委員会
		2日	議会議長特別委員会
		1日	議会議長特別委員会

### 議員別表決

### 「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわかれたもののみを掲載しています。）

議案番号	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	採決結果
		竹中	遠目塚	山元	小東	田口	井上	北園	上原	池田	本石	西原(義)	西原(政)	蔵園	宮崎	栗下	
議案第43号	えびの市個人情報保護条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	原案可決
議案第44号	えびの市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	原案可決
委員会提出意見書案第1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	原案可決

○：議案等に対して賛成    ×：議案等に対して反対    欠：欠席    -：棄権    /：議長は採決に加わりません

# 市議会と市政を語るかい！



## ～平成29年度 議会報告会のお知らせ～

広く市民の皆様と意見交換するための「議会報告会」を、今回から元の4つの中学校区ごとに改め、開催します。

全地区共通テーマと地区別テーマのほか自由な意見交換の時間を設けました。ぜひこの機会に市民の皆様の多様なご意見をお聞かせください。

### ◆議会報告会の内容 (全体で2時間程度の予定)

1. 議会報告 3月及び6月定例会の概要報告
2. 上記の質疑応答
3. 意見交換
  - 共通テーマ  
「子育て支援・移住定住対策」
  - 地区別テーマ  
未定(4つの中学校区別テーマ)
  - 自由な意見交換

このテーマで、市民の皆様の考えやアイデア、また市が実施する対策などへご意見をもとに意見交換します

現在、地区内の自治会長などに設定をお願いしています

### ◆開催日時と会場

7月27日(木) 午後7時30分～	飯野中学校区	飯野地区コミュニティセンター
	上江中学校区	上江地区コミュニティセンター
7月31日(月) 午後7時30分～	加久藤中学校区	市役所本庁舎 1の1会議室
	真幸中学校区	真幸地区コミュニティセンター
8月4日(金) 午後7時30分～	※台風等で上記開催を中止した場合 同じ会場で開催	

※議員が2班編成で担当します。

## 編集後記

議会改選前の議会広報常任委員会での最後の発刊となる議会だより発行となりました。編集等にあたり毎回心掛けていたのは、市民の皆さんが読みやすく理解しやすい誌面にしたいという想いでした。特に一般質問に関しては、各議員の想いが強いだけに、原稿内容に責任を持ち提出してもらいました。なので本来、編集委員会内で校正せず発行すべきと考えています。一般質問に限らず、それだけ議員の発する言葉等には重みがあり、責任が課せられていると感じるからです。今年9月改選にて、新たに市民の付託を受けたえびの市議会が始まります。しかし、それまでは現15名の議員が最後まで責務を全うします。議会だよりをはじめ、もつと市民の皆さんへ伝わりやすい議会運営となるよう努めていきます。まだ少し早いです。今任期中お寄せいただいた市民の皆さんからの叱咤激励に広報委員一同心から感謝申し上げます。お身体御自愛されてお過ごし下さい。

議会広報常任委員会

委員長 遠目塚 文美

